

番号	コンセプト-施策	事業番号	外部評価委員会からの意見等(案)
1		No.1	社会が性的マイノリティの方を受け入れるよう、市民等への啓発を行うとともに、性的マイノリティの方が社会に受け入れてもらえるよう、性的マイノリティの方に対しても啓発を行う必要があるのではないかと考える。
2	コンセプト1 施策1	No.1	相談事業については、事業の実施回数の多寡で評価をするだけでなく、相談者の問題が解決したかどうかの視点も必要ではないかと考える。
3		No.1	イベント事業については、計画していたイベントを開催したという点で評価するだけでなく、アンケートなどの効果測定結果により、その事業の実施目的が達成できたかどうかといった視点も必要ではないかと考える。
4	コンセプト1 施策2	No.6	特定保健指導セミナーの参加者を増やすに当たっては、対象者のニーズに合わせた企画を立案することが必要であると考えます。
5		No.6、No.8	セミナー等について、現役世代の方は時間も限られることから、対面形式のみならず、オンラインでの実施やアーカイブ配信などにより、参加者数を増やす工夫も必要であると考えます。
6		No.11	生理用品の配布について、経済的に困窮されている方など全ての方に情報が行き届いていない可能性もあることから、周知方法の工夫や必要とする方に情報が行き届いたかなどの確認が必要であると考えます。
7	コンセプト1 施策3	No.12	フードロス対策については、各企業において備蓄している非常用食料等の廃棄量削減などに繋がり、企業としてもSDGsと関連して協力を得やすい事業であるため、事業者への積極的な周知に努めていただきたいと考えます。
8		No.15	民生・児童委員の活動について、非常に重要な取組であるが、委員それぞれの負担も大きく、成り手が不足している状況があるため、活動内容の見直しなど民生・児童委員の負担軽減に取り組む必要があると考えます。
9		No.15	民生・児童委員の成り手不足を解消するため、市が実施する他の事業と連動や地域の人材の活用など、様々な視点から候補者をピックアップするといった工夫が必要ではないかと考える。
10	コンセプト1 施策4	No.20	市民活動を活発にし、新たな団体の創設に繋げるために、市民活動団体への支援の大幅に増やすことも必要となるのではないかと考える。
11		No.21	町内会連合会などの団体が抱える諸課題を解決し、活動を活性化するため、団体の役割の明確化や負担の軽減などを検討する必要があると考えます。

番号	コンセプト-施策	事業番号	外部評価委員会からの意見等(案)
12	コンセプト2	No.22-No.26	コロナ禍において外部との接触を避けるなどにより、支援が必要な家庭に必要な支援が行き届いていない可能性があるため、このような家庭に対して必要な支援が届くよう、引き続き、取組をお願いしたい。
13	施策1	No.27	コロナ禍において交流事業の中止なども多くあったが、引き続き、重点的な取組をお願いしたい。
14	コンセプト2	No.34-No.37	建物の改修工事など、その事業の効果が長期にわたり発揮されるものについては、当該固定資産の耐用年数から市民一人あたりのコストを導き出すといった視点も必要ではないかと考える。
15	施策2	No.39	部活動の地域移行に当たっては、地域の方のみならず、近隣の大学などに協力を求めるといったことも検討してはどうかと考える。
16		No.47	体験教室の種目の選定に当たっては、市内における民間スクールの有無やオリンピックにおける日本人選手のメダルの獲得実績などを踏まえて、選定することも検討してはどうかと考える。
17	コンセプト2 施策3	No.48	展示の説明について、展示説明員の説明のみならず、個別の音声案内による展示説明サービスについても検討してはどうかと考える。
18		No.49	企業の人財育成のため、公共図書館と企業との連携は有効な資源の活用であることから、さらなる施策の充実を進めていただきたいと考える。